（別紙）

第8期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

所属名	土佐町
担当者名	筒井智輝

※「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第8期介護保険事業計画に記載の内容				R5年度（年度末実績）		
	区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 （事業内容、指標等）	実施内容	自己評価	課題と対応策
土佐町	①自立支援・介護予防・重度化防止	事業への参加による介護予防効果等について周知をはかるとともに、高齢者の健康増進・介護予防にたいする多様なニーズに対応した事業の展開を図る。 また、住民が主体となり運営する集いの場を地域で継続できるよう支援し、介護予防に取り組む	一般介護予防事業については、「あったかふれあいセンター事業」や「認知症総合支援事業」と一体的に実施する。 介護予防普及啓発事業として介護予防の講座を開催し、若い世代に向けての介護予防、ボランティア（サポーター）の養成を行う。 地域リハビリテーション活動支援事業として健康運動指導士による体操教室を実施する。	体操教室　200回 健康教育　20回（リハビリ専門職による健康教育含む）	【介護予防体操】 ◆てくてく体操 あったか　306回、地域のつどい　61回 ◆口腔ケア体操 あったか・地域のつどい　6回 【若い世代に向けての教室】 ◆トレーニングサポーター養成講座　9回 【地域リハビリテーション活動支援】 ◆理学療法士・健康運動指導士によるフォローアップ教室や体力測定 あったか・地域の集い　9か所で実施 【地域介護予防活動支援】 ◆地域のつどい活動支援　6か所 ◆地域のつどいリーダー連絡会　1回 ◆外出支援（体操やつどいへの送迎）　2カ所	◎	・参加者が固定化されているため、今まで参加したことがない方への呼びかけが必要。個別訪問時に声掛けを行う。 ・継続して参加してもらえるようフォローアップ教室、体力測定等でモチベーションアップを図る
	②給付適正化	高齢者に占める後期高齢者の割合増加などを背景に要支援・要介護認定者の増加やサービスに対する需要の増大・多様化が想定される。土佐町に暮らす高齢者が必要なサービスを必要なときに利用できるよう地域の事業者等と連携を図りながら介護給付の適正化、サービス提供体制の充実に努める。	認定調査については、必要に応じて家族等の同席を求める取り組みや、施設・病院・介護サービス事業関係者やに聴き取りを行い一人ひとりの状態を正確に調査票に反映させる。 県が主催する認定調査員の研修に参加し適正な介護認定の実施に努める。 ケアプランが利用者の生活実態や希望に沿い、適正な給付がされているかを把握するよう努める。 住宅改修については、事前申請書類と現地確認を行い、利用者及び家族の意向を可能な限り尊重した改修ができるよう努める。	調査票の点検　100% ケアプラン点検数　4件 住宅改修の点検数　30件 介護給付費通知　年2回 縦覧点検・医療情報との突合　毎月確認	【要介護認定の適正化】 調査票の点検　100% 【ケアマネジメント等の適正化】 ケアプラン点検数　3件 住宅改修の点検数　21件 介護給付費通知　年2回 縦覧点検・医療情報との突合　毎月確認	◎	・今後も調査対象者の状態を正確に反映するよう努める。また、研修等に参加しスキルアップを図る。